



保土ヶ谷区在宅医療相談室

NEWS LETTER

vol.2
2017.1

新年 あけましておめでとうございます

保土ヶ谷区在宅医療相談室は、早一年が過ぎました。
スタッフ3名でスタートした相談室でしたが、区民の方や医療・介護関係者の方からの相談を頂く様になりました。7月からは4名体制になり、パワーアップしました。
住みよい保土ヶ谷の地域づくりの為、医療・介護の連携が益々必要となります。
気軽に相談できる環境を目指し、きめ細やかな相談対応を行っていきます。
今後も、相談室をぜひ活用して下さい。



保土ヶ谷区の在宅を支える先生



篠崎医院 篠崎 隆先生

地域に根ざした医療を目標に診療活動しておりますが、医療・介護との連携を密にして外来から在宅への継続性のある医療に取り組んで生きたいと思っております。

自宅で最後まで過ごしたい！という皆さんのご希望になるべく寄り添った形の医療を提供したいと考えております。
ケアマネージャーさんや訪問看護師さん、薬剤師さん、ヘルパーさんとチームを組んで実施してまいります。



保土ヶ谷在宅クリニック
大田 英一郎先生

～医療弱者も暮らしやすい
保土ヶ谷区を目指して～



浅野医院
黒田 理佐先生



高齢者のみでなく、医療的ケアの必要な方々を地域で支える事の出来る街づくりに少しでもお役に立てるように努力しております。

『高齢者虐待の防止』
『高齢者の養護者に対する支援』
を考えていきましょう！！

11月24日、保土ヶ谷公会堂にて多職種連携会議を行政、ケアプラザと共催で行いました。
第一部では、『高齢者虐待について』
横浜市民病院 神経内科 山口滋紀先生の講演
第二部では、認知症の症例によるグループワーク
高齢者虐待の実情を知り、多職種での認知症患者への関わり方を学びました。（202人参加）

